

令和6年度「市民とつくる協働のまち事業」 補助団体活動実績

6年度は、11団体へ補助金を交付しました。

○学校法人鹿児島大谷学園

事業名：「フリースペース大谷 子ども・保護者に向けた生活・学習・子育て支援」

【事業概要】

様々な事情により学校に行けない、あるいは家庭以外に安心できる場所のない子どもたちが、少しでも安心して人と関わることができるためのフリースペースを設け、そこで子どもたちに様々な生活体験・満足体験をしてもらう。

また、不登校児を抱える保護者は、子育てに対する不安や孤独感を抱えていることが多いため、講師を呼んで保護者向けの学習会や茶話会のような場を設ける。

【活動実績】

	テーマ	開催日	参加人数 (名)
1	子ども・大人向け見学・講話 「かごしま中央高等学院見学」	6/12	7
2	子ども向け食育・社会科見学 「お菓子作り見学」	6/26	8
3	子ども・大人向けワークショップ 「お金の話」	10/3	11
4	子ども向けワークショップ 「修学旅行体験」	11/21 ~22	11
5	子ども向けワークショップ 「東川隆太郎さんと街歩き」	11/27	16
6	子ども向け食育 「クリスマスクッキング体験」	12/3	13
7	大人向け講話 「言葉のかけ方コーチング」	1/25	21

8	子ども向け体験 「ロボットプログラミング体験」	2/12	15
9	子ども・大人向けワークショップ 「ケルト体験」	3/14	17

○HSP/HSC 鹿児島やさしいハリネスミの会

事業名：「HSC 講演会 明橋大二医師による」

【事業概要】

繊細な子ども達（HSC）の理解を広めた第一人者である明橋大二医師による講演会を教育関係者、支援者、保護者向けに開催し、周知理解を図る。

【活動実績】

明橋大二医師による HSC 講演会の開催

(1)実施日 ①5月 9日 教育関係者、支援者向け

②5月12日 保護者、子どもにかかわる方向け

(2)参加者 ①108名

②280名

(3)内 容 HSC 気質、不登校への理解と対応、回復プロセス、子どもが安心して通える学校作り、教育機会確保法、不登校への支援のゆくえや、体験談や事例など

○coconowa

事業名：「医療的ケア児・病児・障がい児の母親のコミュニティ創出事業」

【事業概要】

鹿児島市、県内に在住の医療的ケア児、病児、障がい児を育てる家族がつながることができる交流会を保健師や行政と協働して実施する。

また、パネル展を実施し医療的ケア児の啓発活動を行うほか、地域と連携し、子育てサロンを実施する。

【活動実績】

1. オンライン交流会の開催 6月、1月（2回実施）

2. 対面交流会の開催

	テーマ	開催日	参加人数（名）
1	障害福祉課より医療的ケア児リーフレット についての話と座談会	4/10	10
2	医療的ケア児等支援センターよりお話と座 談会	5/16	16
3	鹿児島市保育幼稚園課より就園についての 話と座談会	7/10	17
4	鹿児島市教育委員会学校教育課よりお話と 座談会	10/9	21
5	親子でタッチマッサージ	11/21	11

3. 地域子育てサロンの実施

- (1)実施日 9月14日 「移動おもちゃ図書館バンビーニさんに来てもらおう」
(2)参加者 2組、2名

4. リトルベビーサークルゆるりさんと合同交流会

- (1)実施日 8月25日
(2)参加者 15組

5. 写真パネル、ポスター掲示

- (1)実施日 11月14日～18日 世界早産児デー写真展 参加
11月21日～22日 令和6年度健やか親子21全国大会
写真パネル展示 宝山ホールにて
- ・市内5カ所の保健センターにて写真パネル、ポスター掲示
 - 11月25日～29日 西別館1階の市民ギャラリー
 - 12月2日～6日 北部保健センター
 - 12月9日～13日 西部保健センター
 - 12月16日～20日 中央保健センター
 - 12月23日～27日 南部保健センター

○NPO法人居場所 – 共学ステーションかごしま

事業名：「外国人受け入れと日本語教育との関わり」シンポジウム事業

【事業概要】

外国人労働者を中心とする在住外国人の増加や、外国人材の重要度が高まっている中、外国人を受け入れるための言語面・文化面へのサポートが不十分である。そのため、外国人を雇用している企業や関係する団体などを対象としたシンポジウムを開催し、日本語教育のあり方に対する意識向上を図る。

【活動実績】

- ・「外国人受け入れと日本語教育との関わり」シンポジウム
- (1)実施日 10月27日(日)
- (2)参加者 52名
- (3)内 容 講演「外国人受け入れへの日本語教育の新しい関わり方」
トークセッション「鹿児島が選ばれる地域となるために」

○栄縁

事業名：「栄養士・管理栄養士が地域住民の架け橋となる団体構築」

【事業概要】

食や栄養に関する正しい情報を伝え、地域住民の生活の質を向上させるため、親子クッキング教室や、高齢者への食支援として嚥下食専門講師を招いたソフト食料理教室を開催する。

【活動実績】

1. 管理栄養士が教える！やさしい介護食講座の開催

	開催日	参加人数(名)
1	5/22	8
2	7/17	7
3	9/13	6
4	11/26	7
5	1/17	7
6	3/18	8

2. なつやすみ親子クッキングの開催

- (1)実施日 8月3日一部・二部
- (2)参加者 一部 19名
二部 21名

○一般社団法人みつぼちビレッジ

事業名：ふれあいマルシェ 2024in かんまちあ

【事業概要】

障害のある人や困難を抱えている人々が気軽に出かけられるイベントが少ないため、障害がある人もない人も、老若男女問わずみんなが楽しく交流できるマルシェを開催する。また、会場には「思いやり窓口」を設置し、支援の必要な人にも過ごしやすいイベントにする。

【活動実績】

『ふれあいマルシェ 2024in かんまちあ』の実施

- (1)実施日 9月28日（土）
- (2)出店数 60ブース
- (3)ステージ参加者 12団体
- (4)来場者 2,000名以上
- (5)内 容 フリーマーケット、ワークショップ、ティラノサウルスとかけっこ大会、ステージなど

○せごだん

事業名：西郷団地の私設公民館の有効利活用を語るトークイベント

【事業概要】

少子高齢化によるコミュニティの希薄化や増加する空き家などの課題に対して、気軽に集まって語らえる私設公民館「よりどり」の今後の有効活用や空き家利活用の啓蒙のため、外部講師を招いたトークイベントを実施する。

【活動実績】

- ・講演「空き家を利活用したまちづくりについて語る」~~←~~
- ・パネルディスカッション
- (1)実施日 1月19日（日）
- (2)参加者 29名
- (3)内 容 空き家リノベーションの事例の紹介や施設公民館「よりどり」についての助言など

○NPO法人グッジョブサポート

事業名：子ども食堂と居場所づくり「グッジョブMIRAI食堂」事業

【事業概要】

天文館地区に子ども達や地域の人が集い繋がれる場として、子ども食堂と多世代交流の居場所づくりを実施する。また、子ども食堂で過ごす子ども達の様子をみながら相談を受けられる体制とする。

【活動実績】

- ・「グッジョブMIRAI食堂」の開催

市中心部の子どもたちを対象に、毎月1回、第4土曜日に子ども食堂を開催した。

空間にはeスポーツやカードゲームを設置し、ただ食べるだけではなくそこで過ごすことができるよう配慮するとともに、子ども達の「困り」に着目し、声かけを行った。

	開催日	参加人数（名）
1	6/22	47
2	7/27	45
3	8/24	44
4	9/28	48
5	10/26	38
6	11/23	50
7	12/28	46
8	1/25	35
9	2/22	43
10	3/22	41

○こだち

事業名：「自分を感じてケアするためのからだところ講座」

【事業概要】

精神疾患の患者数や自殺者数が増加しており、その背景には心身の不調とともに孤立という問題がある。そのため、メンタルケアや身体のセルフケアの技法について体験しながら学べる講座を開催する。また、講座を通して参加者同士でコミュニケーションをとる場を設け、支え合える繋がりを作る。

【活動実績】

1. 心と身体の連動講座の実施

	講座テーマ	開催日	参加人数（名）
1	身体のリラクゼーションについて	5/26	1
2	自分でできる！心をラクにするためのボディセラピー	6/29	3
3	姿勢と動きを調べて楽になるワンポイント講座	7/27	2
4	からだとあたま～動きで気持ちを切り替える～	8/17	2
5	自分で気持ちをラクにする～心と身体の心理学	10/26	6
6	身体が温まる！気を巡らせるセルフケア	11/16	1

2. ウィメンズヘルス講演会

- (1)実施日 9月21日(土)
- (2)参加者 16名
- (3)実施テーマ 女性のための骨盤ケア講座

○魚見町町内会

事業名：みんなで手作り「魚見町コミュニティボード」制作事業

【事業概要】

団地内の高齢化や町内会加入率の低下、既存住民と新規住民の交流が少ないなどの課題に対し、老朽化した町内の掲示板を住民同士でリニューアルするワークショップを開催する。完成後に掲示板を巡るスタンプラリーやデザインコンテストを行うことで、地域のことを知るきっかけづくりや参加者同士の地域交流を図る。

【活動実績】

1. ワークショップの実施

老朽化した町内の掲示板を、木材を使って住民自身でリニューアルした。

	実施日	参加人数（名）
1	9/22	12
2	9/29	50
3	10/12	14
4	11/10	23
5	12/1	9

2. ウォークラリーの実施

- (1)実施日 12月1日(日)
- (2)参加者 12名
- (3)内 容 町内を歩き、掲示板に書かれた文字を探すゲームとお気に入りの掲示板を見つけるウォークラリーを行った。

3. コミュニティボードの活用・アンケート募集

- ・内 容 コミュニティボードにアンケートシートを掲示したり、ごみステーション掲示板・回覧板で活動報告・コミュニティボードの使用について広報を行い、グーグルフォームを載せてアンケート依頼を行った。

○Enjoy! 転勤ライフ

事業名：「転入者が安心して鹿児島生活がおくれるコミュニティを作る事業」

【事業概要】

鹿児島市に転勤等のため移住してきた女性が安心して鹿児島市で暮らすことができるように、同じ立場の人と交流できる「転勤カフェ」や、転勤転入で仕事や居場所をなくした女性の活躍の場をつくるため、ハンドメイドワークショップやキャリアデザインについて学ぶワークショップ等を開催する。

また、転勤前に鹿児島の情報を入手できるよう、情報発信業務を行う。

【活動実績】

1. 転勤カフェ「転勤さんいらっしゃーい」の開催

- (1)実施日 6月21日(金)
- (2)参加者 18名

2. 講座の開催

	テーマ	開催日	参加人数 (名)
1	海外経験から学ぶ好きを仕事にする視点を学ぶ	6/22	15
2	キャリアデザイン	7/17	5
3	幼児英語の会	10/14	15
4	料理の会(お節料理)	12/3	8
5	顔ヨガ	2/20	6

3. 県外目線からの鹿児島に関する情報発信

ブログ、Instagram、フェイスブックを通して、県外の方からの転勤時の相談などあり、情報提供とサポートを行った。